

# 7-1

## 説明的文章

指示語をつかむ(1)

### 確認問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。



(1) 本文中の次のことばの読みを確認しましょう。

- A 再建
- B 周囲
- C 影響
- D 維持
- E 経済的

〈尾島俊雄「超高層ビルと未来都市」より〉

(2) 本文中の次のことばの意味を確認しましょう。

- a 規模
- b 敷地

(3) —線①「超高層建築を日本でつくろうと考えたきっかけ」とは何ですか。最も適切なことばを、本文中から十字で書き抜いて答えなさい。


(4) ①・②に入る接続語として最も適切なものをそれぞれ次から選び、記号を書いて答えなさい。

- ア だから      イ しかし
- ウ つまり      エ また      ① (   )      ② (   )

(5) —線②「そうなる」との「そうなる」とは、どうなるということを示していますか。「不便な場所は、〜ということ。」という形で、書いて答えなさい。

(6) —線③「日本の超高層建築が最初にかかえた大きな問題が、この交通問題でした」とありますが、「この交通問題」とは、どういふ問題ですか。「超高層建築は、〜という問題。」という形で、書いて答えなさい。

(7) 本文に書かれていることと合うものを次から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 交通の便利な場所の土地代が高くなるとはかぎらない。
- イ 超高層建築はまわりにとっても大きな影響をおよぼすことがある。
- ウ 駅から歩いて行けない場所にも、ビルを建てるべきである。
- エ 超高層ビルは年月がたつと建設した目的がうすれるものだ。

② 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(注) マタギ＝山間部に住む古い猟法を守って狩りを行う狩猟者。

① 本文中の次のことばの読みを確認しましょう。

A 塊  B 崩す

C 舞台

② 本文中の次のことばの意味を確認しましょう。

a 枯渴

b 手当たりしだい

c 根こそぎ

③ 線①「こうして」とは、具体的にはどのようなことですか。それが書かれている二十字以内の一文を、ここより前の本文中から探し、その最初の五字を書き抜いて答えなさい。


④ 線②「こういったルール」とは、どんなルールですか。次から最も適切なものを選び、記号を○で囲みなさい。

ア 道具を使って山菜を採るときは、山の人の指導を受けること。

イ 山菜を採るときは、山の人たちの許可を得るようにすること。

ウ 自然の資源を枯渴させないように配慮して採ること。

エ 簡単に手で採れる山菜に限って採ること。

⑤ 線③「そのため」の指す内容を、「ため」という形で、書いて答えなさい。


7-2

説明的文章 指示語をつかむ(2)

学習日

練成問題

- 1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。



〔有馬朗人〕「物理学は何をめざしているのか」より

(注) 物理学⇨物質や運動・熱などについて研究する学問。

葦⇨イネ科の植物。

思惟⇨考えること。

① 本文中の次のことばの読みを確認しましょう。

A 比較  B 状況  C 鋭い

D 訂正  E 把握

② 本文中の次のことばの意味を確認しましょう。

a 著名

b 厳密

c 独断的

③ 線①「それ」が指しているものを、本文中から五字以内で

探し、書き抜いて答えなさい。


④ 線②「この時代の人間たちは、生きのびるために、必死に

知恵をしばったのです」とありますが、この時代の人間たちがどんなことをしたかが具体的に述べられている部分を探し、その最初と最後の五字（句点も字数に数えます）を書き抜いて答えなさい。


⑤ 線③「道具が人間の肉体以上に働く」とは、どういうこと

ですか。最も適切なものを次から選び、記号を○で囲みなさい。

ア 道具は人間と違って働き続けることができるということ。

イ 道具は工夫すれば優れたものが作り出せるということ。

ウ 道具は人間の身体ではできないことを可能にするということ。

エ 道具は進化し、やがて人間を支配するようになるということ。

⑥ 線④「それ」が指している内容を、本文中のことばを使って、書いて答えなさい。


⑦ 線⑤「この素朴な疑問」とはどんな疑問ですか。その具体

例があげられている二文を本文中から探し、その最初の五字をそれぞれ書き抜いて答えなさい。


⑧ 線⑥「そうした心構え」とは、どんなことですか。次から

最も適切なものを選び、記号を○で囲みなさい。

ア いっおこるかかわからないあたらしい事をだれよりも早く発見

すること。

イ 絶対的に正しい考えというものには存在しないという信念を大

事にすること。

ウ 今までみんなから正しいと思われていたことを一つでも多く

崩すこと。

エ 直観から得た推論をむやみに信じこむことなく、研究を続けること。